

	自ら応募した者								応募の理由
	氏名	性別	年齢	職業	経歴 職名・役職等	農業経営状況		認定農業者 の有無	
						作付内容	耕作面積		
1	矢部 茂代	女	72	無	平成13年から平成27年3月までセンチュリー21登喜和に勤務し、不動産売買、賃貸業務を担当していた。 昭和50年11月から現在までJAあさか野の会員を務め、平成4年4月から平成13年12月まで、志木市交通指導員、平成13年4月から平成15年3月まで母子保険推進委員として活動し、地域活動にも貢献している。 また、昭和50年から農業に従事しており、約50年間農業にも携わっている。	きゅうり、茄子、トマト、トウモロコシなど	8a	無	昨今、志木市でも宅地化が進み、農地が減少してきている。その一方で、米不足や野菜の高騰で農業が如何に大切か身をもって感じています。 将来に向けて、農地の利用の最適化、農業の担い手の継承、遊休農地の解消など様々な問題があります。 私は、女性の目線で問題解決できるよう農業委員会で、学ばせて頂きたく農業委員に応募させていただきました。 もし、農業委員任命の際は、女性も楽しく明るい農業を心がけて、志木市の発展のため、尽力をつくし、努力を重ねていきます。
2	波澄 洋子	女	74	無	昭和44年4月から平成23年3月まで志木市役所に勤務し、行政事務に携わる。 平成23年7月から平成28年3月まで生活保護支援相談員として勤務し、社会福祉事務に携わる。 令和元年12月から民生委員・児童委員として活動し、現在に至っている。 また、平成25年1月からあさか野農業協同組合女性部宗岡支部の組織において活動し、令和4年4月からはリーダーとして現在に至っている。	無	無	無	志木市の農業を守るため、遊休農地にしないための働きかけや耕作者がいない場合の受けて探しなど、支援の必要性を感じます。 高齢化や後継者不足により、農地が利用されなくなることが予想されます。特に荒川堤外農地については、耕作放棄地が出ていることもあり、農地中間管理事業を活用した農地の集約化を進めるため、策定された地域計画の目標達成に向けて、委員の立場から貢献できればと思い、志木市農業委員会委員の募集に応募します。